

現代の思春期・青年期を考える

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会(ワークショップ)」の承認を受けております。＜承認期間:2022年7月2日~2027年7月1日 承認番号:20210392＞

期 日:2023年5月20日(土)・21日(日)

受講対象:小児科医師、精神科医師、臨床心理士、助産師、保健師、保育士、教師、社会福祉関係者など各機関・現場で子どもに関わる専門家および興味のある方々

定 員:40名(定員になり次第締切りますので、ホームページなどでご確認ください)

受講料:15,000円(税込み)

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

青年期は1904年のスタンレー・ホールが疾風怒涛という形容詞をつけた発達段階として定義したことに始まる。その後、私たちは1960年前後に「登校拒否」や「思春期やせ症」をたくさん見るに至って再び青年期に注目するようになった。エリク・エリクソンの同一性障害なる概念を生むことになるが、その後、21世紀になって再び青年期ケースの様態に変化が生じているように思う。そこで臨床現場でご活躍の方々にお出ましを願って話をお願いすることにした。

日頃、教育・福祉・心理臨床・精神医学の領域で実践しておいでの方々のお役に立てればと考えている。

【企画講師:市ヶ谷ひろぎクリニック名誉院長 牛島 定信】

【プログラム】

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
5月20日(土)	14:00~15:30	臨床現場から見えてくる現代の思春期青年期像	市ヶ谷ひろぎクリニック 名誉院長 牛島 定信
	15:45~17:15	性被害による影響と治療:児童期から思春期・青年期まで	聖マリアンナ医科大学 神経精神科学教室 准教授 安藤 久美子
5月21日(日)	10:30~12:00	児童精神科で出会う子どもたち(発達障害、逆境体験)	うしじまこころの診療所 院長 牛島 洋景
	12:00~13:00	昼食(各自おとりください)	
	13:00~14:30	最近の青年たちにみる暴力をめぐって	東京医科大学 精神医学分野 准教授 梶屋 二郎
	14:45~16:15	最近の若者の性行動の特性	一般社団法人日本家族計画協会 会長 北村 邦夫

*カリキュラム・休憩時間等が変更になる場合があります。

ご参加いただく際の注意事項

■ 発熱または風邪の症状がある方、体調不良の方の参加はご遠慮ください

■ 感染対策のため、会場では検温・手指消毒のご協力をお願いいたします。

■ 昼食は各自おとりください。

講義室内でお食事する方は、座席でお食事いただき会話はお控えください。

また、お食事以外はマスクの着用をお願いいたします。

■ 新型コロナ感染症対策につきましては、感染症分類が変更になった場合の対策によって変更となる場合がございますので、ご了承ください。

なお、詳細につきましては、当財団ホームページ（<https://www.my-kokoro.jp/>）を参照願います。

【お問合せ先】

公益財団法人 明治安田こころの健康財団

TEL 03-3986-7021

E-mail moushikomi@my-kokoro.jp